

ラクダライドの5年間実施報告

土田 真一

2013年4月にサバンナエリアが一部オープンしラクダライドを開始した。今後の参考とするため2013－2017年度の年度ごとに、利用者数、実施日数、実施回数、中止理由の変化を飼育日誌から集計した。

当園でのラクダ飼育状況はフタコブラクダのクララ♀（2013年3月～2016年3月）、ヒトコブラクダのピノ♀（2013年3月～現在）、ソフィー♀（2016年3月～現在）の計3頭である。ライドは2013、2014年度はクララのみ、2015年度はクララとピノ、2016、2017年度はピノのみであった。利用者数はクララをみの2013、2014年度は2014年度に体調不良による中止期間が発生し25%減少した。ピノをみの2016年度以降はラクダの健康管理等を考慮し、定員数と実施時間を変更したため年間利用者数は少なくなった。実施日数と実施回数は2頭体制でライドをおこなった2015年度が最も高くなった。これは個体を交代しながらライドを実施できたので、中止する回数が少なくなったためである。中止理由はどの年度も天候不良が最も多いが、各年度に大きな差はない。他には体調管理、工事の影響、再調教、鞍修理などがあげられた。また、ライド実施にはスタッフのスキルの他にも、ラクダとの信頼関係も重要で短期間での技術の修得は困難である。しかし、担当スタッフが毎年のように一部変更があるため、新担当者がデビューするまでの間、ライドを安定して実施できるスタッフは少なくなっている。

過去の飼育日誌を集計したことで、条件が異なるため一概には比較できないが年間利用者数の推移や実施日数・実施回数・中止理由が明確になり各年度の傾向を知ることができた。今後もこれらのデータ蓄積を継続し、ライドやトレーニングのための資料として活用していきたい。